

令和7年度探究型中央研修 特定課題探究研修（働き方改革） 実施要項

1 目的

「令和の日本型学校教育」を担う新たな教職員の学びの姿として、一人一人の教職員が、自らの専門職性を高めていく嘗みであると自覚しながら、誇りを持って主体的に研修に打ち込むことが求められている。教職員支援機構では、この「令和の日本型学校教育」を担う新たな教職員の学びの姿の実現に向けて、参加者の気付きを醸成し、探究を後押しすることを目指した探究型研修を実施している。参加者の「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、参加者一人一人が自身の教育実践の特徴や考えの枠組み、自己の在り方への気付きを得ることが重要である。こうした気付きが豊かに生まれることで、参加者は研修を自分事として捉え、主体的に参画するようになる。また、研修を通して新たに知識・スキルを知ることや豊かな気付きが醸成されることは、それらを起点として自身の実践を見直し、発展させていくための契機となり得る。そのため、この探究型研修においては、参加者がじっくり時間をかけて自らの実践を語り、傾聴し合うを通じて自己の在り方への気付きが生まれることを大切にしている。

このような考え方のもと、本研修では、働き方改革の様々な施策を推進するために、教職員が立ち止まって、それぞれの働き方について考えたり、自校等の働き方改革への向き合い方を問い合わせたりすることを通して得た気付きを起点として、学校における働き方改革を組織的・持続的・協働的に展開していく力の涵養を目的とする。

2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

3 共 催 文部科学省

4 期 間

(1) 令和7年 8月 25日（月） 9:00～17:00

(2) 令和7年 12月 8日（月） 9:00～17:00（実施状況に応じて終了時刻は変更あり。）

※ 本研修はインターバル型研修として実施するため、参加者は全日程の参加を前提とする。

5 実施方法 Web会議サービスを用いた同時双方向通信によるリアルタイム・オンライン研修
（「Zoomミーティング」((株)Zoomビデオコミュニケーションズ)等を使用）

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば本部

7 標準定員 50名

8 参加者

(1) 参加資格

以下の者であって、学校経営、教育実践において各地域の中核としての役割が期待される者

- ・ 幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校（園）長、副校（園）長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び組織において中核としての役割が期待される教諭等
- ・ 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者

※「第5次男女共同参画基本計画」（令和2年12月25日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を25%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。

(2) 推薦手続・推薦期限

推薦期限は、令和7年6月12日（木）とする。

推薦する機関においては、候補者を取りまとめて「研修システム」により推薦を行う。ただし、中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(3) 参加者の決定

推薦する機関からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。ただし、標準定員を超過する場合は、参加者数を調整することがある。そのため、「研修システム」により推薦を行う際に、候補者毎に推薦順位を入力すること。

9 研修内容と研修期間中の学習活動について

内容については、別紙「日程表」のとおりとする。

本研修は、特定の教育課題について、「自ら問いを立て、実践の振り返りや対話、知識の習得を重ねながら、実践を展開していくことで、自他の価値観に気付く」探究のプロセス全体を通して、課題を探究していく力の涵養をめざす探究型研修である。

上記を踏まえ、参加者の推薦に当たっては、参加者が自主的に学習に取り組むことができる時間の確保等、参加者の研修効果を高める環境について配慮すること。

なお、詳細は別途連絡する。

10 事前課題

事前課題がある場合は、参加者決定時に連絡する。

11 研修終了後1年後アンケートの回答について

参加者は、研修終了後1年後アンケートの回答を行うこととする。(回答締切：令和9年1月15日(木))

※「研修終了後1年後アンケート」の回答方法については、別途通知する。なお、回答受付開始の詳細については、参加時に案内する。

12 その他

- (1) 所定の課程を修了した参加者には、修了証書を授与する。参加者推薦の際に、必ず参加者の氏名を確認し、正確に記入すること。
- (2) 本研修では、「Google Workspace」を利用する。利用に際し、Googleアカウントや簡易マニュアルは当機構で作成し、参加者決定時に連絡する。
- (3) 本研修では、Web会議サービス「Zoomミーティング」((株)Zoomビデオコミュニケーションズ)を用いて同時双方向通信を行う。参加に当たっては、当該ソフトウェアのインストールやインターネット通信環境の確保の他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Webカメラ等の必要機器を備えた端末を、1人1台準備すること。
- (4) 参加者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な参加環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。
- (5) 「全国教員研修プラットフォーム(以下、「プラットフォーム」という)を利用している自治体からの参加者に関しては、プラットフォームへの本研修の修了状況の登録を当機構で行う。
登録に当たって、参加者のプラットフォームログインIDが必要となるため、プラットフォームを利用している自治体は、推薦を行う際に研修システムより候補者毎にプラットフォームログインIDを入力すること。
- (6) 本研修の参加に際し、特別な配慮が必要な者(障害、持病等)を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

令和7年度 探究型中央研修 特定課題探究研修（働き方改革） 日程表

1日目 令和7年8月25日（月）オンライン開催

8:45 9:00 17:00

8 月 25 日 (月)	受付	<ul style="list-style-type: none"> 働き方や働き方改革について、対話などを通じて学びを深める。 詳細は別途連絡する。（9:00～17:00を予定） 	諸連絡
--------------------------	----	--	-----

2日目 令和7年12月8日（月）オンライン開催

8:45 9:00 17:00

12 月 8 日 (月)	受付	<ul style="list-style-type: none"> 1日目の学びを踏まえ、働き方や働き方改革について、対話などを通じて学びを深める。 詳細は別途連絡する。（9:00～17:00を予定） 	諸連絡
--------------------------	----	---	-----

（実施状況に応じて終了時刻変更あり。）

参考（昨年度参加者の声）

全国の先生方や異校種の先生方と「働き方改革」という一つのテーマでじっくり対話することができたのがよかったです。対話を通して、「働き方改革」について問い合わせし、自分の思いや考えを言語化したり、伝え合うことで楽しく研修に取り組むことができました。校内での取組方について現状を把握し、育てたい児童像を共有し、具体的な手立ての検討をしていきたいと思います。

探究型研修を受講するのが初めてだったので不安があったが、ファシリテーターの方が丁寧にディスカッションを回してくださいだったので安心して話し合いに参加することができた。テーマに沿って受講者同士で話し合う中で、働き方改革に対する考え方には変化があったり、理解が深まったりする経験ができ、有意義な探究活動ができたと思う。

児童と同じように、教職員も自分が取り組んでいることや考えていることを語る場が必要であると改めて感じた。自己理解し、自分の言葉で伝え、他価値観に触れて視野が広がり、自分の考えや実践が深まるというプロセスはどういう場面でも必要である。また、いかに「自分事にできるか」が改革のキーワードであると思う。

働き方改革について、ゴールを目指して何か形を作り、みんなで守っていけば実現すると安直に思っていた。しかし、働き方改革に決まった答え、ゴールはない。だからこそ、管理職「観」を共有し、みんなで解決策を話し合い、結果が出ることを急がず、少しづつ取組を進めていくことが大切であると考えを更新した。